



女子美と学生を応援する
保護者と教職員の会
ニケの会

2020 SPRING
第19号
news letter

活動報告 | 会長挨拶・ニケカフェ・設立10周年記念式典

お知らせ | 活動予定・懇談会のご案内

PICK UP | 各専攻・領域・コース後期授業の様子

学生生活 | 女子美祭・五美大展・学外卒業制作展

2020年度 活動予定

ニケの会HP <http://www.pcs.co.jp/nike/>

ニケの会では、例年、保護者同士の親睦を深めるために懇談会・交流会を開催してきました。6月には、「教員との懇談会」や「交流会」の企画を実施するため準備を進めておりましたが、残念ながら、今年度は開催中止とさせていただきます。また、地方での懇談会を年間3地区程度(2019年度実施地区参考:東海地区、甲信越地区、中国・四国地区)で開催してきております。今年度は、前期での開催を中止し、左頁の9月に福岡会場での実施を予定しています。今後の状況次第では、延期や中止も考えられますので、ホームページにてお知らせいたします。なお、年度初めの「総会」につきましても、開催ができないため、2019年度「活動報告」、2020年度「活動予定」「ニケの会役員紹介」をニケの会HPに掲載いたします。ご意見等ございましたら、ニケの会事務局までお寄せください。

活動報告



ニケカフェ

2019年10月26日(土)・27日(日)



女子美祭でニケカフェをはじめから、10年がたちました! 今回もコーヒー・紅茶のほかにとら焼き、サブレ・ドーナツを用意。毎回大好評でとら焼き・サブレはお昼頃には完売でした!

付属保護者との交流会



ニケの会の活動の中には、付属高校保護者との交流会などもあります。ニケの会が主催となり、付属出身の各専攻・コースに所属する学生に協力してもらい、学生目線で各自の専攻の魅力をアピールし、保護者の方との交流を行いました。

ニケの会設立10周年記念式典

記念講演・祝賀会

2019年11月9日にニケの会設立10周年記念式典・講演会・祝賀会を開催しました。



式典では、歴代の4人の会長より、その当時の苦労話や楽しかったことなどのエピソードを伺いました。ニケの会10年のあゆみをスライドでご紹介しました。



講演会では、「美大を出るとなにかができるの?—三姉妹は三人三様—」と題して、ヤマザキ名誉教授と3人のお嬢様との対談形式の講演会を開催。お嬢様方が美術の道を選ぶきっかけやお父様からの働きかけ、影響などについてのお話をそれぞれお嬢様のひとりひとりにお話しいただきました。



祝賀会では、設立当時ご尽力いただいた鈴木会長をはじめとする旧ニケの会役員さんや現役員さんや一般の参加者なども参加して設立当時の思い出話などで盛り上がりました。

会長挨拶

保護者の皆様、お嬢様のご入学、ご進級おめでとうございます。

春は芽生えの季節。新しいことが始まり、巡り合う人も増えて、何だかそわそわ、わくわく、ドキドキします。令和の時代となり、皆様はどのような展望をお持ちでしょうか。二ケの会は昨年度、発足10年目となりました。二ケの会は大学と連携しつつ、学生を支援しながら、保護者同士をつなぐ活動をこれからも続けます。大学は今年度、創立120周年となります。伝統ある女子美術大学が、今後ますます発展していくことを祈念いたします。長く続いていくことは簡単なことではありません。苦難や困難を乗り越えて今日に至ります。模索しながら道を切り開いてきた結果です。この先も、個性豊かな女子美生が次々と道を作っていくことでしょう。

2019年度二ケの会 会長 茂木 雪子 (アート・デザイン表現学科ファッションテキスタイル表現領域保護者)

学長挨拶

二ケの会の皆様、日頃より本学の運営に対し、ご理解ご協力いただきまして誠にありがとうございます。本学は今年10月に創立120周年を迎えます。創立時に掲げた建学の精神である「芸術による女性の自立」は今も大切に引き継いでいます。AIの発達により世界の情勢が変化する中、女性の視点、感性を生かした創造性に期待が集まっています。本学ではアートとデザインの学びから産官学との連携活動や国際交流活動につなげることで実践的な力を身につけ、社会に貢献できる人材の育成に取り組んでいます。

各地で開催される懇談会では、地域の特性や学生個々に関する話を伺える貴重な機会と捉え、教職員一同、積極的に参加しております。今後とも教育に関すること、学生生活全般にわたりご意見いただければ幸いと存じます。

現在、コロナウイルス感染拡大する中、オンライン授業の構築や実技指導の工夫など教職員一同取り組んでおります。会員の皆様には一層のご理解とご協力を賜りますよう改めてお願い申し上げます。

女子美術大学・女子美術大学短期大学部 学長 小倉 文子

お知らせ

2020年度 地区懇談会のご案内

学生生活・就職の支援体制等の説明のほか、開催地域で働く先輩(卒業生)から、学生時代・就職活動・仕事の話など直接お話しいただく時間があります。

九州地区 会 場 **アクア博多(B会議室)**

日 時 **9月12日(土) 14:00~16:30 申込み締切 8/28(金)17時**

WEB申込みフォーム <https://forms.gle/EwcfKXeXpkf4bZdL6>



九州地区
申込みフォーム

※お問合わせおよびキャンセルの場合は、
右記二ケの会事務局(校友室)電話・FAX・メール
までお知らせください。

問合せ・キャンセル 二ケの会事務局(校友室)

☎ 042-778-6111 FAX 042-778-6637

✉ nikenokai@venus.joshihi.jp

女子美と学生を応援する保護者と教職員の会 二ケの会とは

女子美術大学二ケの会とは「学生の父母、保護者が中心となり、大学と協力して学生生活の向上を図り、大学の発展に寄与し、会員相互の親睦と教養を深めること」を目的としています。その目的を達成するために、次のような事業等を行っています。

○学生への助成 ○特別聴講 ○年2回会報誌発行 ○会員交流イベント ○懇談会開催 ○ホームページでの情報提供

杉並キャンパス

アート・デザイン表現学科 **メディア表現領域**
www.joshibi.net/media



3年生プロジェクト&コラボレーション演習で、パナソニック株式会社と「超大型画面制作プロジェクト」授業が実施されました。今年は公共空間におけるデジタルアートの可能性を探求し、地域の魅力を伝えるコンテンツづくりがテーマ。「天王洲キャナルフェス2019冬」で、運河沿いのパナソニック映像の壁面に「超大型映像プロジェクションマッピング」作品として上映されました。

アート・デザイン表現学科 **ヒーリング表現領域**
www.joshibi-healing.net



3年次「ヒーリング・アートプロジェクト演習」では、視覚障害児のためのさわる絵本制作プロジェクトを続けてきました。筑波大学付属視覚特別支援学校幼稚部・育児学級の協力を得て、園児達との交流からアイデアを練り制作しました。また、全盲の文化人類学者や卒業生を迎えて先輩の絵本を見る機会も作り、新たな発想を拓きました。

アート・デザイン表現学科 **ファッションテキスタイル表現領域**
joshibi-ft.com



素材基礎演習(1年後期)では、浸染・絞り染め、動物性繊維の縮絨やヒートセットなど、布や繊維の種類とその特性を活かした加工方法を学び、【身に纏うもの】をテーマに作品を制作しました。完成した作品は女子美祭などで展示発表を行いました。

アート・デザイン表現学科 **アートプロデュース表現領域**
www.j-ad-ap.com



3年後期の「舞台芸術プロデュース演習II」では、平田オリザ作「忠臣蔵・OL編」に取り組みました。学生はキャストと舞台監督補佐に分かれ、宣伝美術や衣装、照明等の裏方仕事を分担し、総合的な舞台プロデュースを学びました。

短大 **美術コース**
joshibi-tandai.net



2年生の授業「造形思考2」は抽象絵画について学ぶ授業です。1人100枚以上のドローイングを積み重ね自分自身の中にある表現の源を探ります。様々な表現が見られ、同級生の普段とは違った表現に触れ学生達にも刺激ある授業となりました。

短大 **デザインコース**
joshibi-tandai.net



デザインコーステキスタイル2年次の刷毛染めでオリジナル浴衣を制作する授業です。染料の滲みやぼかしを巧みに操り、自由に絵を描くように染めていきます。女子美祭で展示し、大変ご好評いただきました。

美術
学科 洋画専攻
mixed-color.com



1年生と版画コース大学院生の留学生と日本人学生が、ペアまたはグループとなり、「Diversity in Life」をキーワードにリサーチや話し合いを行いながら作品を制作しました。相模原市の文化振興施設「アートラボはしもと」との地域連携プロジェクトとして展覧会が行われ、展示作品のプレゼンテーションやワークショップなどの様々なイベントを行い、盛況に終わりました。

美術
学科 日本画専攻
www.joshihi.net/nihonga



日本画専攻2年生は箔や盛り上げ等の技法を学びました。日本絵画史において、安土桃山時代に最盛期を迎えた金碧障壁画に用いられたこれらの技術を、如何にして新たな日本画制作に取り入れているのか。現代日本画家である講師の先生方の、普段目にする事のない、制作の一端に触れ、非常に刺激を受けた様子でした。この体験が3・4年生の大作を描く時の支えとなることでしょう。



美術
学科 美術教育専攻
www.joshihi.net/kyoiku



2年生は倍版という通常より大きいサイズの紙を使用したヌードデッサンと静物デッサンの授業を行いました。静物デッサンでは普段使っている鉛筆や木炭から離れ、様々な素材や画材を用いて制作します。パステルや新聞紙を用いてのコラージュなど、それぞれ面白いと思う画材を持ち寄って表現にチャレンジしていました。

美術
学科 芸術文化専攻
www.joshihi.net/cac



2年生は春休み中の1か月間、「海外芸術研修II」の授業としてイギリスでの研修に参加します。今年度は「Fragility」というテーマで、研修先のラフバラ大学の学生たちとポストカードの展覧会を共同開催。後期の授業では相模原キャンパスの学生から作品を募集して、展覧会の準備に取り組みました。

美術
学科 立体アート専攻
www.s-art-joshihi.info



立体アート専攻紙工場の元教授で、現在本学の名誉教授でもある小山欽也先生による特別講義「紙のアーナ試み」が12月に行われました。紙ができるまでとできてからの世界をわかりやすくご紹介くださいました。紙布のワークショップも同時開催で行われ、学生たちは楽しんで紙の可能性を模索していました。

デザイン・
工芸学科 プロダクトデザイン専攻
joshihi-product.com



12月初旬にエコプロ2019に出展いたしました。インテリアショップB-COMPANY様、埼玉事業協会杉の子学園様と連携しデザインを作って売る仕組みをつくり、今回「sozo」というブランドを立ち上げました。「sozo」では杉の子学園様の利用者さんが表現した素晴らしいアートを学生がデザインアレンジしB-COMPANY様で販売します。この売上の一部は杉の子学園の皆様の自立支援に充てられます。

デザイン・
工芸学科 ヴィジュアルデザイン専攻
www.joshihi.net/dc/visual



講師でもあり、コミュニティガーデンプランナーの橋詰敦夫先生を迎え集中講義が開催されました。アートプロジェクトの現状を通してこれからの社会に必要なデザインとは何か?についてお話を伺いました。アートプロジェクトを通して見えてくる社会の難題を学生たちも真剣に受け止めて、先生と質疑応答をやり取りする姿が見られました。

デザイン・
工芸学科 環境デザイン専攻
kankyo.joshihi.net



本学と国立台湾芸術大学とのプロジェクトに環境デザイン専攻の3年生が参加しました。長野県の高山村と、台湾の烏來区のためのデザインを学生の視点から提案しました。11月に取材のために台湾を訪問し、1月末には高山村にて成果報告会を行いました。海外の芸術大学で学ぶ学生との交流はとても貴重な経験となりました。

デザイン・
工芸学科 工芸専攻
joshihi-crafts.net



工芸科で伝統的な染織を学び、現在テキスタイルデザイナーとしてニューヨークを拠点に第一線でご活躍されている武田裕子先生の特別講義を開催しました。海外を中心としたアートワークプロジェクトや、ハイブランドへのテキスタイルの提供、デザインとアートをまたがる洗練されたお仕事についてご講話いただき、学生も多くの刺激をいただきました。

工芸専攻 卒業・修了制作展 2020
ko-gei junction わたしたちの創造が交差する
 2020年2月7日(金)~2月11日(火)

青山にあるスパイラルガーデンにて開催。
 染・織・刺繍・陶・ガラスコースの作品が会場いっぱいに展示され、
 たくさんのお客様に見ていただきました!



環境デザイン専攻 2019年度
卒業制作展

2020年2月7日(金)~2月9日(日)

デザインフェスタギャラリー原宿にて開催。



プロダクトデザイン専攻
卒業制作展 2020「knock-knock」

2020年2月21日(金)~2月23日(日)

五反田 東京デザインセンターにて開催。



女子美術大学短期大学部
デザインコース テキスタイルデザイン
卒業制作学外展
 一染・織・ファイバーワークス
 2020年2月13日(木)~2月16日(日)
 六本木 AXIS GALLERYにて開催。



同窓会埼玉支部展「彩の会」
 埼玉県出身の学生 22名が出品

同窓会の大先輩たちの作品とともに埼玉県立近代美術館に展示されました。ニケの会では、各地区で行う懇談会の際にその地区の同窓会支部の方にも協力いただいています。最終日には学生有志によるギャラリートークも実施。



学生生活

女子美祭2019 10月25日(金)~27日(日)

相模原: 重中川「ローイング」



相模原: 正門装飾



杉並: 正門装飾



杉並: ファッションショー



東京五美術大学連合卒業・修了制作展

2019年2月20日(木)~3月1日(日)2月28日(金)

東京五美術大学(本学、武蔵野美術大学、多摩美術大学、東京造形大学、日本大学芸術学部)の美術系学科による卒業・修了制作展が毎年、東京・六本木にある国立新美術館にて開催されていますが、当初、2月20日~3月1日までの会期でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大予防のため急遽2月28日までとなりました。

会場風景



ご父母・保護者の皆様へ

新入生の保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。
お子様のご入学と同時にご父母・保護者の皆様は、女子美術大学ニケの会の会員となりました。
女子美術大学ニケの会とは、全学部に在籍する学生の父母・保護者と教職員で組織する会で、
会員の皆様のご協力を得ながら、さまざまな事業を行っております。
つきましては、今後の活動の参考とさせていただきたく、
アンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。(全学生保護者対象)

アンケートのご回答方法

下記のいずれかの方法でご回答ください。

パソコンから下記URLにアクセス

<https://forms.gle/NLQYNiXW9izcTw7w5>

携帯電話、スマートフォンから下記QRコードを読み取りアクセス



表紙のことば

相模原キャンパスが開学して2020年4月で30年を迎えます。
グラウンドに咲く桜も30年前には、まだ苗木ほどでしたが、
今では大人になりグラウンドを360°囲むように咲き誇っています。
学生のいない春休み中に満開の時期を迎えてしまい、桜も少し寂しそうです。